

NCB音楽祭2021

オペレッタ

# メリー・ウイドウ

THE MERRY WIDOW

全3幕・2部構成

— 演奏会形式セミステージ日本語上演 —



2021年12月15日(水)

福岡サンパレス ホテル&ホール

開場/17:30 開演/18:30



主催：西日本シティ銀行 / 公益財団法人 福岡文化財団

後援：西日本フィナンシャルホールディングス・福岡市・福岡市教育委員会  
公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団・西日本オペラ協会「コンセル・ピエール」  
協力：兵庫県立芸術文化センター

NCB音楽祭2021

オペレッタ

# メリー・ウィドウ

THE MERRY WIDOW

全3幕・2部構成

— 演奏会形式セミステージ日本語上演 —

## 第1部

第1幕

### ポンテヴェドロ王国パリ公使館

序奏~国王の誕生日

ヴァランシエンヌとカミーユの二重唱

陽気な未亡人ハンナの登場

伯爵ダニロの登場

ハンナとダニロの二重唱 間抜けな騎兵の歌

女女女・男男男 七重唱行進曲

語りとダンスの二重唱(メリー・ウィドウのワルツ)

## 第2部

第2幕

### ハンナ・グラヴァリ邸の庭園

序奏とヴィリヤの歌

二重唱とロマンス

第2幕フィナーレ

第3幕

### パリのマキシム

ギャルソンのパレード

シャンソン

「天国と地獄」より(カンカン)

ハンナとダニロの二重唱

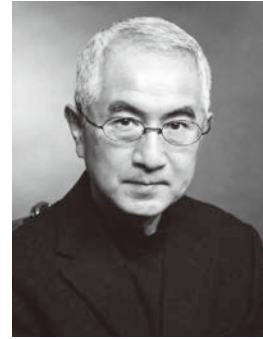
フィナーレ(大詰めの合唱)

原作:アンリ・メイヤックの喜劇「公使館随員」

作曲:フランツ・レハール 台本:ヴィクトル・レオン/レオ・シュタイン

日本語上演台本:広渡 勲 訳詞:森島 英子

総監督・構成・演出 / 広渡 勲 (演出家・昭和音楽大学客員教授) ……………



福岡市出身。早稲田大学を経て東宝演劇部入社。

多くのミュージカルや歌舞伎公演を手がける。ジャパン・アート・スタッフに移籍後、(財)日本舞台振興会のプロデューサーとして、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座、英国ロイヤル・オペラ等世界の主要歌劇場やバレエ団の招聘を手がけ、バーンスタイン、クライバー、ベジャールをはじめ世界的な人脈を築く。演出家としては指揮者佐渡裕とコンビを組み、「メリー・ウィドウ」(2008年)、「こうもり」(2011年)で大成功をおさめた。2014年の西日本シティ銀行創立10周年記念音楽祭から「歓喜と喝采」シリーズの構成・演出を担当。2000年フランス共和国文化省から「芸術文化賞シュバリエ」叙勲。2020年、初のエッセイ集「マエストロ、ようこそ」(音楽之友社)を上梓。

指揮 / 井崎 正浩 ……………



福岡市出身。福岡教育大学在学中に国立ウィーン大学に留学。

1995年ブダペスト国際指揮者コンクールで優勝。同年5月国立オペレッタ劇場で「メリー・ウィドウ」を指揮してデビュー。以来、サヴァリア交響楽団芸術監督兼常任指揮者、ブダペストオペレッタ劇場客演指揮者などを歴任。2007年からソルノク市音楽総監督。2015年にはソルノク市における長年にわたっての文化芸術活動に対して、「カポシヴァーリ・ジュラ賞」(ソルノク市文化功労章)を授与され、同年8月にはハンガリー政府・大統領名によって民間人に与えられる最高榮譽の「金十字功労勲章」を授与された。現在、ハンガリーに在住する唯一人の日本人指揮者として高い人気を誇ると共にその実力が高く評価されている。加えて、2020年12月1日にこれまでの日本・ハンガリーの二国間の音楽交流促進への貢献に対する功績が認められ「令和2年度外務大臣表彰」を授与された。

◆ CAST ◆



ハンナ・グラヴァリ  
たかの ゆり え  
高野 百合絵〈ソプラノ〉

富山県出身。  
東京音楽大学、及び同大学院首席修了。NISSAY OPERA2018「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役で注目され、佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2021「メリー・ウイドウ」では主役ハンナ・グラヴァリを見事に演じ、華麗な舞台姿と確かな歌唱力で喝采を浴びた。これまでに、現・上皇上皇后両陛下御臨席のもと御前演奏の他、第九、宗教曲などのソロを務め、読売日響、OEK、京響、東響、神奈川フィルなどのオーケストラと共演。「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・パッショ」などメディアでも活躍している。2020年デビューCD「CANTARES」をリリース。



ヴァランシエンヌ  
いち はら あい  
市原 愛〈ソプラノ〉

神奈川県出身。  
東京藝術大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学大学院を修了。2013年のトリノ国立歌劇場日本公演ではヴェルディ「仮面舞踏会」にオスカール役で出演。2019年2月にはフィルハーモニー・ド・パリで行われた「久石譲シンフォニック・ガラ・コンサート」のソリストを務め、その歌唱力で聴衆を魅了。2021年7月佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2021「メリー・ウイドウ」ヴァランシエンヌ役で、好評を博す。

市原愛オフィシャル・ホームページ  
<https://www.aiichihara.com/>



ミルコ・ツェータ男爵  
く せ やす とし  
久世 安俊〈バリトン〉

長崎県出身。  
福岡教育大学大学院教育研究科音楽教育専攻修了。これまでに、西日本オペラ協会公演のオペラ「フィガロの結婚」、「コジ・ファン・トゥッテ」、「愛の妙薬」ほか、数多くの舞台に出演。また、バッハの受難曲やカンタータ、ヘンデル、モーツァルト、フォーレなど教会音楽のソリストも務めるほか、合唱指揮者としても活躍。現在、近畿大学九州短期大学教授。西日本オペラ協会理事長。RKB女声合唱団指揮者、NCBコールアカデミア指揮者。福岡ゾリストン会員。福岡ユージェン・ツァイト音楽顧問。



ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵  
おお やま だい すけ  
大山 大輔〈バリトン〉

鹿児島県出身。  
東京藝術大学首席卒業。同大学院修了。2008年、佐渡裕芸術監督プロデュース兵庫県立芸術文化センター「メリー・ウイドウ」のダニロ役で鮮烈なデビューを飾って以降、井上道義×野田秀樹による「フィガロの結婚」フィガロや、手塚治虫原作・宮川彬良作曲歌劇「ブラック・ジャック」タイトルロールなど、独自性の強い作品の主役で圧倒的な存在感を示している。役者としても演劇作品へ多数出演している。洗足学園音楽大学ミュージカル・声楽コース講師、カクシンハン・スタジオ(演劇研修所)講師。



カミーユ・ド・ロシヨン  
こ ぼり ゆう すけ  
小堀 勇介〈テノール〉

福島県出身。  
国立音楽大学卒業、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第15期修了。2016年文化庁新進芸術家海外研修生としてイタリア・ボローニャへ留学。第7回静岡国際オペラコンクール入選及び三浦環特別賞受賞。第36回飯塚新人音楽コンクール第1位。第16回東京音楽コンクール声楽部門第2位。留学中は故A.ゼッダ氏のもとで研鑽を積み、2016年ペーザロにてロッシーニ・オペラ・アカデミー公演「ランスへの旅」リーベンスコフ伯爵役で出演。またモーツァルトの「戴冠ミサ」及び「レクイエム」など宗教曲でも注目を集めている。



ニエグシュ書記官  
なか たに ひ と し  
仲谷 一志〈語り役〉

福岡県出身。  
テアトルハカタの劇団員として10年間在籍。その後フリーとなり一人芝居の上演を開始。1994年10月劇団ショーマンシップを旗揚げ。座長を務める傍ら、ほとんどの作品にプロデューサー・演出家・役者として携わる。インプロ(即興劇)への造詣が深く、国際シアタースポーツのメンバーでもある。劇団ショーマンシップ座長。日本演出家協会会員。日本児童・青少年演劇劇団協同組合理事。協同組合理事。現在、RKBラジオ「仲谷一志・下田文代のよなおし堂」レギュラー出演中。

カスカーダ子爵



え がわ やす し  
江川 靖志  
〈テノール〉

クロモウ参事官



の ざ き しゅう いち  
野崎 昭一  
〈テノール〉

ラウール・ド・サンプリオッシュ



う え だ こう へい  
上田 浩平  
〈テノール〉

その妻 オルガ



い で ち み き  
出口 未来  
〈ソプラノ〉

ボグダノヴィッチ領事



なか たけ し げ み  
中竹 茂美  
〈テノール〉

ブリッチェ駐在武官



え ぞ し ま さ よし  
江越 正嘉  
〈テノール〉

その妻 シルヴィアース



や な せ ふ み こ  
柳瀬 史子  
〈ソプラノ〉

その妻 プラスコヴィア



なか の りょう こ  
中野 亮子  
〈ソプラノ〉

練習ピアニスト



お お り み き  
大森 美樹

合 唱 / NCBフロイデ合唱団

ソプラノ	有吉 綾子 高田 明子 立石 智子	アルト	大浦 洋子 甲斐 敦子 北島 まり	テノール	中川 茂 八谷 武彦	バリトン	関 隆治 中川大治郎 中村 賀亮 福地 浩貴 宮地 純
------	-------------------------	-----	-------------------------	------	---------------	------	---

振付・指導 / 巽 慎之介・殿畑 敦子

指導補・ダンス / 榊山 晃汰・立花 梨奈

ダンス / 福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校卒業生ほか

上田 浩平	宇田 成樹	川畑 陽乃	高田 侑暉	戸花 優季	中村 龍志
西田 優希	浜口 陽菜	平川 未未	平田シモン	藤井 遥	李 涛

オーケストラ / 九州交響楽団

1953年創立。アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、「天神でクラシック」、「名曲・午後のオーケストラ」の自主公演のほか、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約130回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。



演出補 / 飯塚 励生

制作進行 / 市岡 洋

舞台監督 / 鶴野 良平 (株)九州舞台

舞台美術 / 木村 康彦 (株)九州共立

映像 / 深水 智之 (株)九州舞台

青木 一雄 Staff Team Artisan

照明 / 竹之内昌治 (株)九州舞台

映像制作 / 甲木 一嘉

舞台監督補 / 田中 敬子 Staff Team Artisan

音響 / 山下 成年 (株)九州舞台

大道具 / (有)メイク

曾根麻理名

ヘア&メイク / 本田 義晴 arch

片山かすみ bruna.HAIR

第1部

第1幕

舞台はパリにある「ポンテヴェドロ王国」公使館。国王の誕生日を祝うレセプションが開かれています。ホスト役の公使ミルコ・ツェータ男爵と妻ヴァランシエンヌ、ボグダノヴィッチ領事、プリチッチ駐在武官、クロモウ参事官とその妻たち。そして公使館の書記官(実態は何でも屋)のニエグシュもてんてこ舞いです。公使の胸に去来するのは先ごろ銀行家の夫を亡くし、5億フランの遺産を手にしたハンナ・グラヴァリ夫人のこと。「もし、ハンナが外国人と再婚すれば、5億フランはポンテヴェドロ王国から流出し、王国は大損失。何とかハンナをポンテヴェドロの男性と結婚させなければならない。その為には、ハンナの元恋人ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵と結婚させるのが一番！」公使はあれこれと策略を巡らすおかげで、妻ヴァランシエンヌがパリの伊達男カミーユ・ド・ロシヨンと怪しい関係になっていることに全く気づきません。一方、ヴァランシエンヌはカミーユが「愛しています」と書き込んだ扇子を失くして慌てています。そこにハンナが登場。男たちは一斉に言い寄り、熱い視線を送ります。肝心のダニロは？そうです。ダニロは行きつけの「マキシム」でしたたかに聞こし召していいご機嫌、千鳥足で登場する始末……。久しぶりに再会したハンナとダニロ。その昔、身分違いの結婚は絶対に認めないと、ダニロの父親から宣告され、結局別れた二人。ハンナはまだその事にこだわっています。にぎやかにパーティが進む中、ついに公使はダニロに「ハンナ・グラヴァリ夫人と結婚せよ！」という国王陛下の命令を下します。「あの手この手で”女を射止めようとする男たち。”男はみな同じよ」とはじき返す女たち。恋のアヴァンチュールが続く中、ハンナとダニロが二人きりに……あわや！の瞬間、ハンナは身をひるがえして夜霧の闇に消えてゆきます……。

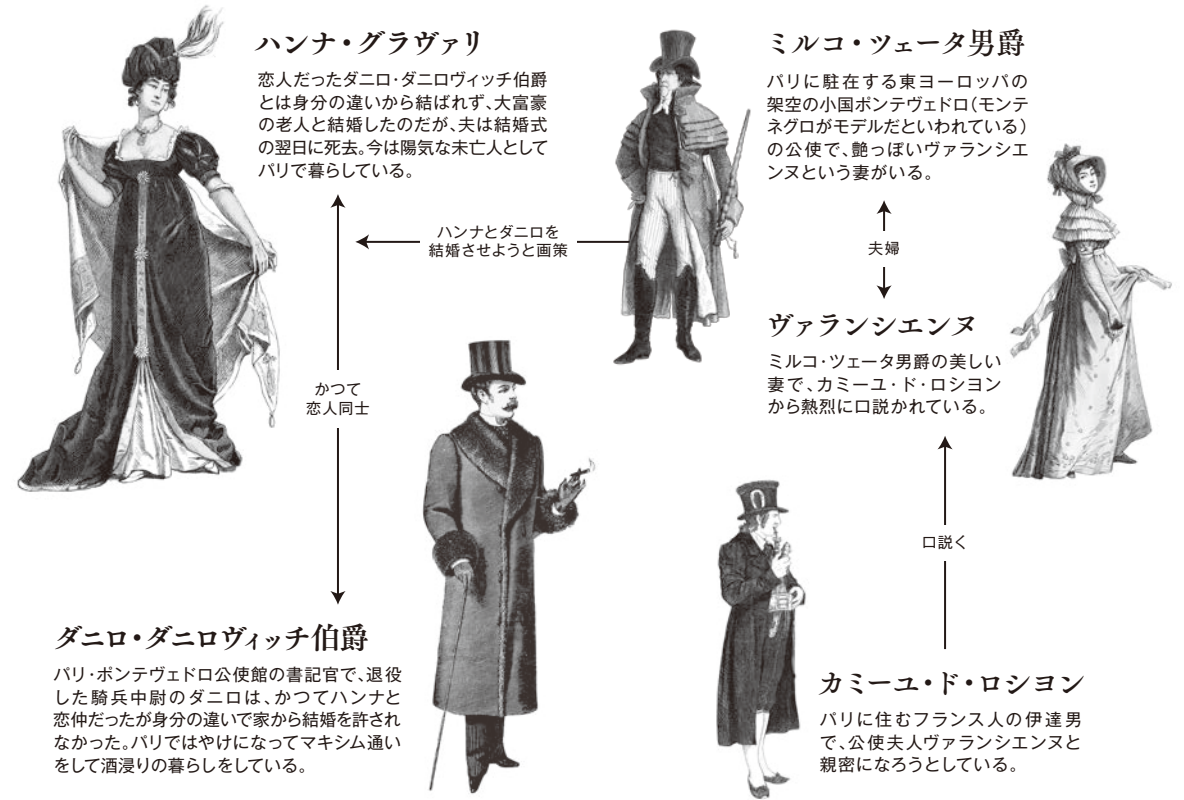
第2部

第2幕

パリにあるハンナ・グラヴァリ邸の庭園は、ポンテヴェドロ風民族衣装に身を包んだ人たちが賑わっています。一同が森の精「ヴィリヤの歌」に遥かな祖国を偲んでいる中、フランス人の伊達男カミーユとヴァランシエンヌの仲は深まるばかり。ついに二人は庭園にある東屋に姿を消してゆきます。カミーユが人妻と東屋にいると知った公使は東屋の鍵穴から覗き見をし、カミーユの相手が妻のヴァランシエンヌと知って逆上します。そこにダニロもやってきて、東屋の扉が開かれると、中から現れたのはカミーユとハンナ！実は、危機を察したハンナが、ヴァランシエンヌと入れ替わっていたのです。それとは知らぬダニロは、いたたまれなくなって「自分の居場所はマキシムだ！」とその場を去って行き、ハンナはダニロが自分を愛していると知るので。

第3幕

舞台はパリのマキシム。ハンナはダニロが好きなマキシムを借り切って、にぎやかにパーティを開いています。ギャルソンのパレード、シャンソン、カンカン……マキシムの女性たちに取り囲まれているダニロのもとにハンナがやってきます。二人きりになり、甘いメロディーが気持ちを高め、踊りが二人の距離を縮めてゆき……ついにダニロはハンナに愛の告白を！そして、公使の妻ヴァランシエンヌと伊達男カミーユの行く末は？すべての出来事は、粋な計らいの結果めでたく収まり、華やかな夜会は更に続いてゆくのでした。



作曲家 フランツ・レハール

オペレッタ「メリー・ウィドウ」を作曲したフランツ・レハールは、1870年4月30日オーストリア・ハンガリー帝国のコモルン(現・スロバキア共和国)で生まれました。曾祖父・父親が音楽家という家で育ったレハールは、少年時代からピアノを学び、11歳の時に最初の歌曲を作ったと言われています。ブダペストからプラハへと学びの場を移し、ドボルザークやブラームスからも教えを受けました。ドイツのヴッパータールでオーケストラのヴァイオリン奏者として活動し始めますが、すぐに父の跡を継ぎ軍楽隊の隊長として帝国各地を回った末、ウィーンに腰を落ち着けて作曲活動に力を入れます。1902年、アン・デア・ウィーン劇場で「ウィーンの女たち」を上演し、晴れてウィーンのアオペレッタ作曲家仲間入りを果たしたレハール。「メリー・ウィドウ」は、1905年12月30日にアン・デア・ウィーン劇場で初演されました。指揮はレハール自身。ハンナをミッツィ・ギェンター、ダニロをルイス・トロイマンが演じました。トロイマン演じるコミカルで洒落なダニロが新しいウィーンの主役像を作り出し、登場人物すべてが優雅に踊る、新しいオペレッタの誕生となりました。ヨハン・シュトラウス2世が活躍したウィンナ・オペレッタの「黄金時代」に続いて、「白銀の時代」が華やかに幕を開けたのです。ウィーンの人たちは、このオペレッタを大歓声で迎え、やがてハンブルク、ベルリン、ブダペスト、そして1907年にはニューヨークで上演されるなど、空前の「メリー・ウィドウ」ブームが巻き起こりました。レハールはこの一作で富と名声を手に入れ、その後も「ルクセンブルク伯爵」「ジプシーの恋」「微笑みの国」などの作品を世に送りだし、1948年10月24日、78歳で亡くなるまで、「白銀の時代」を担うオペレッタの作曲家として大活躍したのです。

## 【ご来場・ご鑑賞に関する注意事項】

音楽祭会場では、ご来場者および公演関係者の健康と安全を最優先とし、  
新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に努めます。

- 少しでも体調がすぐれない場合は、ご入場をお控えくださいますようお願い申し上げます。37.5℃以上の場合は入場をお断りいたします。また開催日の2週間以内に37.5℃以上の発熱、新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触があった場合のご入場はご遠慮ください。
- 必ずマスクを着用の上、ご入場ください。また、手指の消毒をお願いいたします。
- 受付時に検温を実施いたします。
- クロークはございませんのでご了承ください。
- 出演者への面会および差し入れはお断りいたします。
- 指定席以外のご鑑賞はお断りいたします。
- ロビーなどでは密を避け、他のお客様とできるだけ距離を取っていただきますようお願いいたします。
- ロビーや鑑賞時においても必ずマスクを着用ください。
- 終演時は分散してのご退場にご協力ください。



おうちでお楽しみいただける

# ◆ NCB音楽祭2021 ◆

- ◆ 2021年12月25日(土)19:00~20:55 FM福岡にて放送!
- ◆ 2021年12月24日(金)~2022年2月28日(月)まで  
西日本シティ銀行のホームページから「NCB音楽祭2021」の  
映像をご覧ください。

西日本シティ銀行 NCB音楽祭2021特設ページ

[https://www.ncbank.co.jp/corporate/chiiki\\_shakaikoken/report/202112\\_ongakusai/](https://www.ncbank.co.jp/corporate/chiiki_shakaikoken/report/202112_ongakusai/)



西日本シティ銀行



公益財団法人  
福岡文化財団